

「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方（案）」 に対するパブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

市民ミュージアムは、令和元年10月12日の令和元年東日本台風により被災し、復旧・復興に向けたあり方等について、文化芸術振興会議に設置された「市民ミュージアムあり方検討部会」において審議され、令和3年7月に答申が提出されました。

答申を踏まえ、本市にとってどのような新たな博物館、美術館が必要であることを示すため、「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方（案）」を取りまとめ、市民の皆様からの御意見を募集しましたので、御意見の内容及び御意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

題名	「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方（案）」に関する意見募集について
意見の募集期間	令和3年9月1日（水）～令和3年9月30日（木）
意見の提出方法	郵送、持参、FAX、電子メール
募集の周知方法	市政だより9月1日号、各区役所・支所及び出張所の閲覧コーナー、情報プラザ（川崎市役所第3庁舎2階）、各市民館、各図書館、教育文化会館、小黒恵子童謡記念館、川崎浮世絵ギャラリー、川崎市大山街道ふるさと館、川崎市岡本太郎美術館、川崎市港湾振興会館（川崎マリエン）、川崎市平和館、川崎市夢見ヶ崎動物公園、川崎市立日本民家園、かわさき宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館）、東海道かわさき宿交流館、市民文化局市民文化振興室（川崎フロンティアビル9階）、川崎市ホームページ
結果の公表方法	各区役所・支所及び出張所の閲覧コーナー、情報プラザ（川崎市役所第3庁舎2階）、各市民館、各図書館、教育文化会館、小黒恵子童謡記念館、川崎浮世絵ギャラリー、川崎市大山街道ふるさと館、川崎市岡本太郎美術館、川崎市港湾振興会館（川崎マリエン）、川崎市平和館、川崎市夢見ヶ崎動物公園、川崎市立日本民家園、かわさき宙と緑の科学館（川崎市青少年科学館）、東海道かわさき宿交流館、市民文化局市民文化振興室（川崎フロンティアビル9階）、川崎市ホームページ

3 結果の概要

意見提出数（意見件数）	71通（265件）
電子メール	50通（189件）
FAX	18通（60件）
郵送・持参	3通（16件）

4 意見の内容と対応

パブリックコメント手続を実施した結果、新たな博物館、美術館に求める事業内容や施設整備に関する事、開設地に係る具体的な希望や立地条件、資料構成などについての御意見・御要望が寄せられました。これらの御意見を踏まえ、市民へのわかりやすさを重視して写真を追加するなど、一部の御意見を反映し、「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方」を策定いたします。

【御意見に対する本市の考え方の区分説明】

- A：御意見の趣旨を踏まえ、「基本的な考え方」に反映させるもの
- B：御意見の趣旨が「基本的な考え方」に沿った意見であるもの
- C：今後の施策・事業を推進する中で参考とさせていただくもの
- D：「基本的な考え方」に対する質問・要望等の意見であり、「基本的な考え方」の内容等を説明するもの
- E：その他

項目	件数	市の考え方（単位：件）				
		A	B	C	D	E
1 「Ⅰこれまでの経緯」に関する事	2		1		1	
2 「Ⅱ本市における新たな博物館、美術館の必要性」に関する事	10		3		7	
3 「Ⅲ基本的な考え方」「1 新たな博物館、美術館の施設について」に関する事	45		19	25	1	
4 「Ⅲ基本的な考え方」「2 新たな博物館、美術館の役割について」に関する事	11		7	3	1	
5 「Ⅲ基本的な考え方」「3 基本構想に向けて」に関する事	13		1	9	3	
6 「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方（案）」全般に関する事	18	2		14	2	
7 今後検討する、施設の設備や機能等に関する事	31		3	22	6	
8 今後検討する、事業等の内容に関する事	119			118	1	
9 その他	16					16
合計	265	2	34	191	22	16

5 市民意見（要旨）と意見に対する市の考え方

< 1 「Ⅰ これまでの経緯」に関すること：2件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	市民ミュージアムは大変すばらしい施設で、市民が気軽に歴史、アートに触れられる事ができ、市民ミュージアムに行くと刺激を受けられた。	本考え方で示しているとおおり、これまでも市民ミュージアムは、多くの市民が文化芸術に触れ、創造する機会の創出や文化芸術を享受する場としての役割などを担ってきました。 今後も、これまでの活動を踏まえ、本考え方で示している役割及びその方向性の実現に向けた検討を行ってまいります。	B
2	漫画に強いというブランドは、現在でも薄れていないと感じている。	本考え方で示しているとおおり、「漫画分野は新たに専門のミュージアムが開館されたことなどから、開館当初と比較してその枠組みや特色が薄れてきている」状況ですが、漫画分野は、現在でも市民ミュージアムのブランドのひとつであると認識しています。	D

< 2 「Ⅱ 本市における新たな博物館、美術館の必要性」に関すること：10件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	市内各地にある文化施設をつなげるような機能をもつ、総合的な博物館が必要ではないか。	本考え方で示しているとおおり、「本市ゆかりの多彩な文化資源を活用し、市域全体の歴史、成り立ちや歩みを網羅的に紹介、解説する地域の博物館が必要である」と考えています。 今後は、文化施設との連携を踏まえた、事業展開の方向性を検討してまいります。	B
2	アートがある街は将来的には、絶対に良い街になる。心の洗濯は誰にでも必要で、そのような思いを育めるまちづくりが必要ではないか。	本考え方においても、新たな美術館の必要性を整理しており、また、新たな美術館の役割として「文化芸術を活用したまちづくり」を掲げています。今後は、御意見も参考としながら、具体的な取組を検討してまいります。	B

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
3	市民ミュージアムの存続を希望する。	<p>本考え方において、市民ミュージアムが収集してきた資料・作品や、これまで果たしてきた役割を踏まえて、新たな博物館、美術館の役割とその方向性を整理しています。</p> <p>今後は、この役割と方向性の実現に向けて、本考え方に基づき策定する基本構想において、博物館、美術館それぞれに事業展開の方向性等を検討してまいります。</p>	B
4	財政面等を考慮し、ローカルな博物館、美術館を作る意義を、廃止も含めて再度議論してほしい。	<p>本考え方で示しているとおおり、本市には、専門的な文化施設としての博物館や、個人の顕彰的な美術館があるものの、これらの施設は、市域全体の歴史、成り立ちや歩みを網羅的に紹介、解説するなどの役割や、本市ゆかりの芸術家やその作品をはじめ、川崎市域の文化芸術を幅広く紹介する役割などを担うことは難しいと考えており、これらの役割を担う地域の博物館や、アートの中心的な施設としての美術館が必要であると考えています。</p> <p>施設の整備にあたっては、財政状況等を考慮した整備手法や管理運営手法等について検討してまいります。</p>	D
5	市民ミュージアムの移転・再建ではなく、大小複数の特色ある専門分野別の新規のミュージアムに分散して開設するのがよいのではないか。	<p>本考え方で示しているとおおり、本市には、専門的な文化施設や個人の顕彰的な美術館があるものの、これらの施設は、市域全体の歴史、成り立ちや歩みを網羅的に紹介、解説するなどの役割や、本市ゆかりの芸術家やその作品をはじめ、川崎市域の文化芸術を幅広く紹介する役割などを担うことは難しいと考えており、これらの役割を担う地域の博物館や、アートの中心的な施設としての美術館が必要であると考えています。</p>	D

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
6	川崎市の公害に関する独立した資料館・展示館を整備してほしい。(同趣旨他2件)	本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の役割と方向性として、「川崎の歴史と文化を未来へつなぐ」としていることから、公害だけでなく、都市川崎の成り立ちを記録し、継承するような博物館を検討してまいります。	D
7	岡本太郎美術館をベースにした、創作豊かな現代美術館や先鋭的な絵画や映像や衣装などの展示を中心とした美術館にしてほしい。	本考え方で示しているとおおり、本市には、個人の顕彰的な美術館はあるものの、本市ゆかりの芸術家やその作品をはじめ、川崎市域の文化芸術を幅広く紹介する役割や、市民の文化芸術活動の拠点としての役割を担う美術館がないことから、そうした役割を担うアートの中心的な施設としての美術館が必要であると考えています。	D
8	市民ミュージアムの被災以前と同じ手落ちを繰り返すのであれば、新たな施設を整備する意味がどれだけあるのか疑問を感じる。	本考え方で示しているとおおり、本市には、専門的な文化施設としての博物館や、個人の顕彰的な美術館があるものの、これらの施設は、市域全体の歴史、成り立ちや歩みを網羅的に紹介、解説するなどの役割や、本市ゆかりの芸術家やその作品をはじめ、川崎市域の文化芸術を幅広く紹介する役割などを担うことは難しいと考えており、これらの役割を担う地域の博物館や、アートの中心的な施設としての美術館が必要であると考えています。	D

< 3 「Ⅲ 基本的な考え方」「1 新たな博物館、美術館の施設について」に関すること：45件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	新たな施設は被災リスクの少ない場所に開設してほしい。(同趣旨他7件)	本考え方で示しているとおりに、開設地につきましては、可能な限り水害等の被災リスクの少ない場所に設置することで検討してまいります。	B
2	新たな場所に博物館、美術館を整備することに賛成する。(同趣旨他3件)		
3	博物館と美術館が融合した施設を整備してほしい。(同趣旨他4件)	本考え方で示しているとおりに、新たな施設につきましては、博物館、美術館の融合を前提として検討を進めますが、本市が抱える立地面の課題や財政状況などから、そうした形態での整備が図られなくとも、新たな博物館、美術館が連携して活動することにより、その相乗効果を生み出していくこととしています。	B
4	財政面等を考慮すると、博物館、美術館を併設した大規模な施設を建設する必要はなく、新たな博物館、美術館が連携して活動する、ネットワーク型の施設を整備してほしい。(同趣旨他1件)		
5	宮前区役所の跡地を開設地にしてほしい。(同趣旨他1件)	本考え方で示しているとおりに、開設地につきましては、可能な限り水害等の被災リスクの少ない場所に設置することとしておりますが、今後は、御意見を参考としながら検討してまいりたいと考えています。	C
6	駅から歩いていくことができる、生田緑地を開設地としてほしい。(同趣旨他1件)		
7	開設候補地となる場所が少ないかもしれないが、老朽化で今後を検討している施設の計画と併せて検討を行い、市の中央部を開設地にしてほしい。		
8	文化センター機能がある施設と近接していると、そのエリアに訪れるリピーター市民が増えるのではないかと。		
9	ミュージアム川崎のある川崎駅西口エリアを開設地としてほしい。		
10	向ヶ丘遊園の跡地を開設地としてほしい。		
11	市の中心にある、市役所の近辺(富士見地区)での開設を希望します。		
12	美術館について、現在の市民ミュージアムの映像部門を抽出し、「映像のまち・川崎」の拠点となる施設として、市の北部に開設してほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
13	公文書館の付近に開設してほしい。		C
14	川崎市平和館の付近に開設してほしい。		
15	武蔵小杉の再開発に合わせて、元住吉駅・武蔵小杉駅・武蔵中原駅の近くで立地のよい場所に開設してほしい。		
16	新たな施設はアクセスの良い場所に開設してほしい。(同趣旨他5件)		
17	新たな施設は駅に近い場所に開設してほしい。(同趣旨他1件)		
18	新たな施設は川崎駅周辺に開設してほしい。(同趣旨他1件)		
19	市域全体の計画に基づいて、開設地や建築物を検討してほしい。	本考え方で示しているとおおり、開設地につきましては、可能な限り水害等の被災リスクの少ない場所に設置することとしておりますが、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
20	「点」ではなく「面」での地域振興の要として、市としての一体感、統一感が見えてくると良いのではないか。	今後、御意見も参考としながら、本考え方で示した役割及びその方向性の実現に向けて検討してまいりたいと考えています。	C
21	開設地は現在地からなるべく変えてほしくない。	本考え方で示しているとおおり、現施設の復旧には多額の費用が見込まれることや、洪水浸水想定区域内に立地していることから、2階まで浸水する恐れがあることなどの理由により、現施設・現在地でのミュージアム機能の再開は行わず、新たな博物館、美術館の施設は、可能な限り水害等の被災リスクの少ない場所に設置することを検討してまいります。	D

< 4 「Ⅲ 基本的な考え方」「2 新たな博物館、美術館の役割について」に関すること：11件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	新たな博物館、美術館の役割及び方向性の内容に賛成する。(同趣旨他3件)	御意見の内容は、本考え方で示している新たな博物館、美術館の役割と方向性に沿った考え方であり、今後は、本考え方にに基づき、事業展開の方向性等を検討してまいります。	B
2	市民ミュージアムの役割は、市民の生涯学習や交流、博物館・美術館の展示、保管であり、その観点を踏まえて新たな博物館、美術館の役割及び方向性を考えてほしい。		
3	新たな博物館、美術館の最も重要な役割は、文化財や史料を末長く保存し、提供できるようにすることではないか。		
4	いつでも時代を越えた表現や素材に触れられることができる機会やコレクションがあることこそが美術館の役割であると思う。		
5	役割と方向性の中でも、特に人材育成と学びの機会の提供を重視してほしい。	御意見も参考としながら、今後、本考え方を基にした事業展開の方向性等について、検討してまいりたいと考えています。	C
6	これまでの市民ミュージアムが担ってきた役割の「20世紀後半も含めた同時代の美術について、調査研究、収集、展示等の活動を進めることによる現代美術の可能性の拡大」を、さらに推し進めて検討してほしい。		
7	今までの収蔵品を大切に、活用してほしい。	本考え方において示した新たな博物館、美術館の役割とその方向性は、「市民ミュージアムが収集してきた資料・作品」を踏まえて整理したものであり、今後は、御意見も参考としながら、既存の収蔵品の活用を検討してまいりたいと考えています。	C
8	水没した収蔵品の補修を行っているが、貴重なものとは思えないため、速やかに破棄してほしい。	本考え方において示した新たな博物館、美術館の役割とその方向性は、「市民ミュージアムが収集してきた資料・作品」を踏まえて整理したものであり、市民の貴重な財産である収蔵品の修復については、引き続き取り組んでまいります。	D

<5 「Ⅲ 基本的な考え方」「3 基本構想に向けて」に関すること：13件>

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分		
1	川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアムあり方検討部会の議論を尊重し、それを具体化し実現するよう検討してほしい。	本考え方で示しているとおおり、今後の基本構想の策定にあたり、文化芸術振興会議市民ミュージアム検討部会の答申だけでなく、その過程における意見も尊重して検討してまいります。	B		
2	「川崎市市民ミュージアム」という名称を再考してほしい。	新たな施設や計画の名称につきましては、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C		
3	基本構想の名称を「新たなミュージアムに関する基本構想」としてほしい。				
4	開設地の選定方法も市民に明確にわかるように情報を公開して、意見を反映してほしい。	今後の検討手法や内容につきましては、検討段階に応じて、有識者や市民等の意見を効果的に反映させる手法を検討してまいりたいと考えています。	C		
5	様々な民間企業や市民も交えた、周辺エリアや公共施設のあり方を踏まえた検討を行ってほしい。				
6	学芸員等の意見を聞きながら検討を行ってほしい。				
7	今後の検討においても、川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアムあり方検討部会委員によるフォローアップの機会を設けてほしい。				
8	市民からも委員を入れ、開かれた議論の上で、新しい川崎市の歴史を作っていくような博物館・美術館を検討してほしい。				
9	最新の巡回展事情や、アフター・コロナを見据えたマスコミの動向、企画会社など業界全般を見通した視点を加えた検討を行ってほしい。			今後も他都市の事例や、業界全体の動向等を考慮しながら検討してまいりたいと考えています。	C
10	他の県・市の美術館・博物館を調査して検討を行ってほしい。				

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
11	美術館を中心とした規模感、グレード感、連携を含めた市内の各館の川崎ブランドの再構築が、新美術館開館に向け収束していく仕掛けも必要ではないか。	新たな博物館、美術館の開館に向けて、市内の各文化施設が担う役割や魅力発信等の取組につきましては、川崎市文化芸術振興計画等の関連計画の中で検討・整理するものとして考えています。	D
12	新たな施設を整備するまでの間の活動について、今後の検討に含めてほしい。(同趣旨他1件)	本考え方は、本市にとってどのような新たな博物館、美術館が必要であるかを示したものであり、新たな施設を整備するまでの活動については、市民ミュージアム事業の取組の中で検討してまいります。	D

< 6 「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方(案)」全般に関すること：18件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	本編と概要版のそれぞれに目的が書かれているが、記載している場所を揃えたほうが、より分かりやすいと思う。	概要版の構成を本編に揃えることとし、概要版の市民ミュージアムの設置目的についての記載を「I これまでの経緯」から「はじめに」に移動しました。	A
2	写真等があると、より分かりやすいと思う。	被災前の市民ミュージアム外観の写真や被災後の収蔵庫内部等の写真を追加しました。	A
3	効率的で利用しやすい、市民にとって身近な博物館としてほしい。	御意見も参考としながら、新たな博物館、美術館に関する検討をしてまいります。	C
4	小規模でも川崎らしく、市民が何度でも足を運びたくなるような施設にしてほしい。		
5	市民が誇れる、市民プライドの醸成に貢献するような施設にしてほしい。(同趣旨他2件)		
6	市外に対しても広く存在感と発信力を誇り、都市イメージの改善に貢献する風格のある施設を整備してほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
7	ミュージアムとしての特色や地域の特色が発揮される施設にしてほしい。		C
8	誰でも繰り返し見て考える場になるような工夫をしてほしい。		
9	カフェなどを併設し、日頃美術館、博物館に関心がない人が、観覧以外の目的でも来館したくなるような魅力的な開かれた施設にすることで、市民だけでなく、市外の人も引き寄せることができるのではないか。		
10	図書館のような、子どもが遊べて、大人もリラックスできて、様々な本を読める場所にしてほしい		
11	多くの市民が納得する施設を設立してほしい。		
12	様々な切り口で、市民の幸福のために役立つことを前提に検討を進めてほしい。		
13	流行に流されず、芸術のまち、川崎に相応しい美術館を検討してほしい。		
14	市民に繰り返し利用してほしい施設なのか、市外から訪問した人（外国人も含めて）に川崎市を紹介する施設なのか、ターゲットにより方向性も変わってくるのでは。	本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の役割と方向性として、「多様性や社会的包摂への理解が進んだ、成熟した地域社会の実現をめざす」と考えています。 今後は、御意見も参考としながら、事業展開の方向性等を検討してまいりたいと考えています。	C
15	基本的な考え方（案）は、一般的な美術館、博物館の意義づけの集大成であり、川崎にあるべき美術館、博物館のイメージを示したものではないように感じる。	本考え方は、本市にとってどのような新たな博物館、美術館が必要であるかを示したものであり、今後、その具体的な取組を検討してまいります。	D
16	市民ミュージアムの存続を主張したいという意図が見えるが、それではどうするかという具体的内容がなく、説得力が感じられない。		

< 7 今後検討する施設の設備や機能等に関すること：31件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	防火・防水対策をしっかりと行ってほしい。	本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の整備につきましては、災害等のリスクに配慮して検討してまいります。	B
2	様々なリスクへの管理を徹底してほしい。		
3	災害に強い建物にしてほしい。		
4	博物館・美術館としての機能を最優先に考えた上で、総合文化芸術施設の中心地となるような創造的な建築してほしい。	新たな博物館、美術館の施設整備や諸室機能につきましては、御意見も参考としながら、今後、事業内容等と併せて検討してまいりたいと考えています。	C
5	市外から観光客が訪れるような素晴らしい建物にしてほしい。		
6	様々なコンテンツ提供者の表現手段を生かすべく、多様な使い勝手の出来る施設にしてほしい。		
7	後から設備や機能を追加できるスペースを確保してほしい。		
8	市民に理解され活用される博物館として、学校教育と関連し、小・中学生が地域を学習する場として、展示物や学習ブース等を備えてほしい。		
9	作者の講演と展示が併せて行えるセミナー会場を併設してほしい。		
10	新たな施設には、学びの場、交流の場としてアトリエ機能を備えてほしい。		
11	「映像のまち・かわさき」を実感できる場として、新たな施設にもシアター機能を備え、市内でロケが行われた作品の上映権を誘致してほしい。		
12	子どもが足を運びやすくなるような、子ども向けのコーナーを整備してほしい。		
13	市民レベルで美術展、作品展が行えるギャラリーを整備してほしい。		
14	これまでの市民ミュージアムよりも展示空間を増やしてほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
15	wifi や自販機を設置した、若年層が滞在するようなラウンジを整備してほしい。		C
16	広い展示室ではなく、小さな展示室を数多く整備してほしい。		
17	エントランスは小さくていい。その分展示室を広くしてほしい。		
18	ストリート・アートを制作する機能や、学習する機能を整備してほしい。		
19	建築アートとなるような収蔵庫を博物館、美術館に隣接して整備してほしい。		
20	地域の子どもたちや川崎市民の作品を展示する機能を備えてほしい。		
21	カフェを併設してほしい。	新たな博物館、美術館に併設する設備や機能につきましては、今後、御意見も参考としながら、事業内容等と併せて検討してまいりたいと考えています。	C
22	昔の食事が食べられるようなレストランを併設してほしい。		
23	様々な自動販売機を設置してほしい。		
24	車椅子での移動など、バリアフリーに配慮した施設にしてほしい（同趣旨他1件）	新たな博物館、美術館の施設整備にあたっては、障害の有無にかかわらず、誰にとっても利用しやすい施設として検討してまいりたいと考えています。	C
25	川崎市の歴史と文化を発信する拠点であると同時に、防災拠点の機能、行政サービスの機能も持つことが必要では。（同趣旨1件）	本考え方は、本市にとってどのような新たな博物館、美術館が必要であるかを示したものであるため、各公共施設が担う役割や機能等については、市全体の取組の中で整理してまいります。	D
26	市民館やスポーツセンターを新たな博物館・美術館と併設してはどうか。		
27	区民館との併設を希望します。		
28	アートとスポーツの複合施設として、エクストリーム・スポーツの練習・競技場を併設してほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
29	子どもが安心して通える図書館機能を備えてほしい。	本考え方は、本市にとってどのような新たな博物館、美術館が必要であるかを示したものであり、本市における図書館機能のあり方については、「今後の市民館・図書館のあり方」（令和3年3月策定）を踏まえた今後の取組の中で検討してまいりたいと考えています。	D

< 8 今後検討する事業等の内容に関すること：119件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	市民の美術館、表現の場として、生活の延長にある展示を続けてほしい。	御意見の内容は、本考え方で示している新たな博物館、美術館の役割と方向性に沿った考え方であり、今後は、御意見も参考としながら、事業展開の方向性を検討してまいりたいと考えています。	C
2	伝統ある市の歴史が一目でわかる展示を行ってほしい。		
3	学生がレベルの高い作品に身近に触れ、学ぶことができる施設にしてほしい。		
4	市民の作品を展示してほしい。		
5	身近で親しみやすく、年齢に関係なくだれでも利用できる施設にしてほしい。		
6	多くの人にとってアートが身近に感じられるような美術館にしてほしい。		
7	川崎市の多彩な文化に触れながら、地域の人たちが繋がれる場所として、気軽に訪れることができる施設にしてほしい。		
8	市内の文化施設のハブとしての機能を強調してほしい。		
9	川崎の歴史を伝える、見る、知ることができるような展示を行ってほしい。	本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の役割として、「川崎の歴史と文化を未来へつなぐ」と考えています。	C
10	江戸時代以降の本市の歴史について取り扱ってほしい。		
11	これまでの市民ミュージアムの活動に引き続き、川崎の歴史、伝統、文化に関する観点を重視してほしい		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
12	市ゆかりの作家の作品を展示してほしい。(同趣旨他2件)	<p>本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の必要性として、「本市ゆかりの芸術家やその作品をはじめ、川崎市域の文化芸術を幅広く紹介する役割を担う美術館が必要である」と考えています。</p> <p>今後は、御意見も参考としながら、事業展開の方向性等を検討してまいりたいと考えています。</p>	C
13	新たな場所での美術館運営を検討していくことは仕方がないことだと思うが、新たな場所でも、子どもや地域の方々と共生する施設を整備してほしい。	<p>本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の役割と方向性として、「多様性や社会的包摂への理解が進んだ、成熟した地域社会の実現をめざす」と考えています。</p> <p>今後は、御意見も参考としながら、事業展開の方向性等を検討してまいりたいと考えています。</p>	C
14	多様な人々が来館できる施設にしてほしい。		
15	市外の芸術家にとっても魅力的な施設となるような取組を行ってほしい。		
16	障害のある人や外国語話者など、誰もがいつでも来館しやすくするための情報保障や、アクセシビリティ向上のための専門スタッフの配置を検討してほしい。		
17	生産世代、ビジネスマンにも興味を感じてもらえるような取組を行ってほしい。		
18	子どもから大人まで、何度も足を運びたくなる様な内容にしてほしい。		
19	外国人観光客のために、英語以外の言語にも対応した施設にしてほしい。		
20	被災してしまった収蔵品も、修復の過程とともに展示してほしい。	<p>本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の役割と方向性として、「令和元年東日本台風による被災の事実の継承」と考えています。</p> <p>今後は、御意見も参考としながら、事業展開の方向性等を検討してまいりたいと考えています。</p>	C

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
21	幅広い方々にとって使いやすく、価値のある知のアーカイブを提供する情報拠点であってほしい。	本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の役割と方向性として、「誰もが本市の歴史、多様な文化への理解を深められるよう、生涯を通じて学びの機会を提供する」と考えています。 今後は、御意見も参考としながら、事業展開の方向性を検討してまいりたいと考えています。	C
22	これまでに考古、民俗から漫画まで取り扱ってきたからこそできる、市民に開かれたデジタル情報拠点のあり方を検討してほしい。		
23	市民や市内の企業など、様々な関連団体と連携して市民ミュージアムを再生してほしい。	本考え方で示しているとおおり、新たな博物館、美術館の役割と方向性として、「多様なつながりの創出」と考えています。 今後は、御意見も参考としながら、事業展開の方向性等を検討してまいりたいと考えています。	C
24	工業産業や歴史を取り扱う施設と連携した活動を行ってほしい。		
25	他の漫画関連のミュージアムや記念館とオンラインでの協働・連携をしてみてもどうか。		
26	これからの時代を担う若い世代が、学校を通じて様々な文化芸術に触れ、活動の場を広げていく事が大切だと思う。		
27	福祉施設や学校等の施設とより連携し、多くの人にとって身近な施設にしてほしい。		
28	展示会などの催し物を増やしてほしい。	具体的な事業につきましては、今後策定する基本計画において検討してまいりたいと考えています。	C
29	利用者が気楽に訪れられる催し物を開催してほしい。		
30	「芸術のまち」としてのイメージを高めるために、誰でも作品を発表・販売できるアート・クラフトのフリーマーケットや、アートと音楽、食とのコラボレーションイベントなどを行うアート・クラフトフェスティバルを開催してほしい。		
31	作品だけでなく、来館者が話題にしたくなるようなイベントやフードなどを計画的に企画してほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
32	市内の古い民謡などの演奏会を開催してほしい。		C
33	プロジェクションマッピングによるイベントを行ってほしい。		
34	美術全体に愛情を持つ館長を配置してほしい。	新たな博物館、美術館の管理運営手法等につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
35	企画会議に、若年層の一般市民に参加してもらい、検討プロセスも含めて公開していくような、プロセス・エコノミー的な手法を取り入れてほしい。		
36	持続可能な施設運営のために、マーケティング手法を取り入れ、ブランド価値を高めるような取組を行ってほしい。		
37	指定管理者制度を導入してほしい。		
38	指定管理者制度による運営ではなく、市が運営し専門的な知識のある学芸員を正規職員として配置してほしい。		
39	ファンドレイジングなど、先進的な事例を参考とした運営手法を検討してほしい。		
40	適格な運用管理が行える指定管理者・学芸員を配置してほしい。		
41	川崎の公害について取り扱ってほしい。(同趣旨他8件)		
42	新たな博物館、美術館の中に、公害に関する資料館またはコーナーを整備してほしい。(同趣旨他1件)		
43	公害に関する資料を充実してほしい。		
44	負の歴史をなかつたものとせず、後世に伝え、今後のまちづくりに活かしてほしい。		
45	川崎市の公害の歴史と公害防止条例が制定された歴史の資料を保存してほしい。		
46	川崎の公害裁判に関する資料を保存してほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
47	川崎を取り巻く様々な災害の危険性や環境問題を取り扱ってほしい。		C
48	SNSを活用した、自然発生的な情報発信を行ってほしい。	新たな博物館、美術館における広報等の事業活動につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
49	国際発信として、国外施設での展示やSNSの活用についての専門性を有する人材を活用できる体制を構築してほしい。		
50	資料の収集について、財政面等を考慮しながら、市民からの寄贈や寄託を募るなどして、他の美術館にはない個性的なコレクションを収集してほしい。	新たな博物館、美術館における収集等の事業の内容につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
51	長期にわたり収蔵品を安全に保管するため、博物館と美術館で分離した収集・保管をしてほしい。	新たな博物館、美術館における収蔵品の保管方法につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
52	保管条件が異なる「民俗・考古」と、「歴史（古文書）・美術文芸・グラフィック・写真・漫画・映像」の資料を、それぞれ異なる施設で保管してほしい。		
53	テーマを絞り、他のミュージアムにはない川崎ならではの企画を立案してほしい。	新たな博物館、美術館が取り扱う事業の選定に関する考え方につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
54	あれもこれもではなく、取り扱う内容を限定してほしい。		
55	デジタル技術を活用した保管、展示等の取組を行ってほしい。（同趣旨他9件）	新たな博物館、美術館での情報技術等の活用につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
56	館外でも作品を鑑賞できるような展示を行ってほしい。		
57	現代アーティストや多様な表現者からアイデアを公募し、新たな鑑賞体験の創出や企画展の実施など、実験的な試みを行ってほしい。		
58	博物、美術の分野を越え、交わることにより新しい視座から表現を生み出すような取組を検討してほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
59	常設展と企画展を組み合わせた展示を行ってほしい。	新たな博物館、美術館における展示等の事業の内容につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
60	多様性に満ちた川崎の歴史と文化を未来に引き継ぐためには、ICT機器や映像機能を活用した展示や公演の企画などの取組が必要では。		
61	美術館では、市民が美術に親しみ文化芸術活動の創作意欲が高まるような展示を行ってほしい。		
62	展示だけで完結せず、体験のブース等を設置して、子どもから大人が様々な技法を学ぶことができると良いのでは。		
63	様々な世代が同じ場所を描き、それが掲示されているような展示を行ってほしい。		
64	複数人で一緒に来館できるような取組を行ってほしい。		
65	写真撮影が可能な、独創的な作品を展示してほしい。		
66	アニメ・漫画も含めた、これまでのような特色のある展示を行ってほしい。		
67	実際に触れて楽しむことができるような、体験型の展示を行ってほしい。(同趣旨他2件)		
68	企画展は、学芸員が主体的に企画・実施する展覧会と、マスコミや企画会社が企画する巡回展の一会場としての展覧会をバランスよく開催してほしい。		
69	博物館、美術館ともに収蔵にはこだわらず、市内在住のスタッフによるテーマに基づいたイベントを定期的で開催してほしい。	新たな博物館、美術館が取り扱う事業等の内容につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
70	市内の文化芸術施設の分館機能として、その概要解説や一部展示を行ってほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
71	川崎市にゆかりを持つスポーツチームを紹介する機能を備えてほしい。		C
72	川崎市の強みの一つでもある、ごみ処理事業について発信してほしい。		
73	現在二子塚公園で保存されている市営トロリーバスの車体や、桜川公園の旧市電車両、市バスの資料などの交通局の資料を展示してほしい。		
74	これまでも漫画の収蔵・展示を行ってきたことから、川崎を舞台にした漫画・アニメ等を展示してほしい。		
75	新たな施設は、避難所としても利用される可能性もあるため、災害に関する情報も、文化的なデジタルアーカイブと等しく扱うようなこともできるのではないか。		
76	貴重な漫画や映像作品は、今後世界的な財産になると思うので、これらの資産を救出、保守する活動を今後も続けてほしい。		
77	音楽とアートを融合した、同時に楽しめるような施設にしてほしい。		
78	市民のアイデンティティーが形成されるような、歴史博物館としての機能を充実してほしい。		
79	マンガ同人誌を専門に取り扱ってほしい。		
80	マンガ周辺の二次生成物（雑誌の組立て付録、懸賞、玩具、関連グッズなど）を取り扱ってほしい。		
81	新たな博物館、美術館で音楽カルチャーを取り扱ってほしい。		
82	食に関する展示を行ってほしい。		
83	映画の取組を強化してほしい		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
84	市民ミュージアムが保管していた、世界的に見ても非常に貴重な映像分野のコレクションを、今後も大切に保管・公開してほしい。		C
85	粘土や書なども取り扱ってほしい。		
86	障がい者スポーツの情報提供や体験の場を設けてほしい。		
87	メディアアートの展示や交流、制作の場を整備してほしい。		
88	ストリート・アート作品を取り扱ってほしい。		
89	ジオラマやギミックのある模型を展示してほしい。		
90	昔のおもちゃを取り扱ってほしい。		
91	現代的なアートや、若い人たちが写真を撮りやすいアートを展示してほしい。		
92	新たな施設は、「映像のまち・かわさき」の発信基地としての役割を担うことができるのではないか。		
93	被災後の資料残存状況を考慮した事業計画を検討してほしい。		
94	「川崎マンガ賞」を設立してほしい。	新たな博物館、美術館で行う人材育成に関する取組につきましては、今後、御意見も参考としながら、検討してまいりたいと考えています。	C
95	若手アーティストの育成のため、ストリート・アート・アワードを創設してほしい。		
96	川崎市の豊かな自然の活用、歴史的な経緯などを活用することも一つの基軸にしつつ、本市在住の芸術家を発見するために、助成制度の整備や発表の場所の提供などの、新しいアートプロジェクトの公募などを検討してほしい。		
97	現在の運営体制の継続をし、考えを継承してほしい。	新たな博物館、美術館の管理運営体制につきましては、今後、策定する基本構想、基本計画の中で検討してまいります。	D

< 9 その他：16件 >

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
1	手塚治虫のオブジェ「笑い」や市民ミュージアムの1Fフロアにあった大型の彫刻について、市内の他の施設に保管してはどうか。	市民ミュージアムで保管・管理している作品等の活用につきましては、今後、御意見も参考としながら、適切な方法を検討してまいりたいと考えています。	E
2	手塚治虫のオブジェ「笑い」について、保管場所を手塚プロダクションに相談してみてもどうか。		
3	手塚治虫のオブジェ「笑い」について、外部に保管する費用をクラウドファンディングなどで部分的に補填してみてもどうか。		
4	新たな施設で工業発展の歴史を展示するのであれば、トーマス転炉を記念碑として、現在のように敷地内に展示してはどうか。		
5	トーマス転炉を等々力公園の一角に記念碑として設置してはどうか。		
6	現施設は除却せず、別の用途での活用を検討してほしい。	本考え方では、新たな博物館、美術館の施設に関する考え方として、現施設に係る課題等を踏まえ、現施設・現在地でのミュージアム機能の再開は行わず、可能な限り水害等の被災リスクの少ない場所への設置を検討していくこととしています。 なお、現施設につきましては、復旧のために多額の工事費用が見込まれること、庁内での利活用の希望がないことなどから除却することとしており、その時期や手法については等々力緑地再編整備事業において調整することとしています。	E
7	音楽や演劇の団体などの様々な要求を拾い上げて、現在の施設を有効に活用することができるようなあり方を検討してほしい。		
8	現施設を除却するのであれば、最後のお別れができるように施設を解放してほしい。		
9	建物自体が水害のメッセージ性を発することで、水害を風化させないだけでなく、水害大国における建物の先行的な事例を示せると思うので、現在地で、既存の建物を活用した新たな博物館・美術館のあり方を再考してほしい。		

No.	意見内容	意見に対する市の考え方	区分
10	台風 19 号の被災から約 2 年が経過したが、これまでの取組が見えてこない。ハザードマップを見れば現在の立地での再開館は現実的でないので、速やかに解体して更地にするべき。		E
11	現施設の除却は、SDGs の潮流に反する流れであり、環境負荷の観点からも賛成できない。		
12	浸水した部分を封鎖、消毒した上で、被害を受けていないエリアで、民間業者にも公募を募りながら、他の用途での活用を検討するなど、いち早く有効活用できる方法を考えて運営を再開してほしい。		
13	現在地は大変魅力的なので、等々力緑地を「スポーツの殿堂」だけではなく、「市民の憩いの場」に育てるチャンスに活かして欲しい。(例えば、「親子で遊びに行ける大きな公共の施設」を、子連れでも気軽に入れる飲食店等と併せて整備すれば、市のイメージアップにつながるのではないか。アートとの親和性も高いので、岡本太郎の作品等を等々力緑地で活用してはどうか。)	跡地を含む等々力緑地全体では、現在、官民連携による再編整備の取組を進めています。今後も、社会状況の変化を踏まえながら、緑地が持つポテンシャルを最大限に活かし、将来にわたり、緑やスポーツの拠点として市民に愛され、魅力あふれる公園の実現に向けて取組を進めてまいります。	E
14	現施設の跡地について、周辺地域の人間は等々力緑地とともに生活しているので、緑を大切に、今後も持続可能な市民の憩いの場をつくってほしい。		
15	現施設の跡地をスポーツの集積地として、若者に人気のあるニュー・スポーツが体験でき、大会が実施できるような施設を整備してほしい。		
16	現施設の跡地に、ランニング・ステーションを整備してほしい。		